

利用料金規定一覧

市民・大学交流センターの利用料金については、相模原市立市民・大学交流センター条例（以下「条例」という。）及び相模原市立市民・大学交流センター条例施行規則（以下「施行規則」という。）で規定されています。

詳細につきましては、条例、施行規則を添付してありますので、参照してください。

なお、条例では利用料金の1日の上限額が定められていますので、その上限額の範囲内で利用料金の案を作成してください。

【相模原市立市民・大学交流センター条例（抜粋）】

（利用料金）

第10条 第5条第1項の規定により利用の承認を受けたもの（以下「利用者」という。）は、第20条の規定によりセンターの管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金（シェアードオフィス等の利用料金を除く。）は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 シェアードオフィス等の利用料金は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日までに納入しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（1）利用を開始する日の属する月に係る利用料金 利用を開始する日の前日（当該日が休所日に当たるときは、当該日後最初に到来する開所日。次号において同じ。）

（2）前号に掲げる月以外の月に係る利用料金 当該月の前月末日

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の不還付）

第12条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表（第10条関係）

1 施設利用料金

（1）基本利用料金

施設	単位	金額
セミナールーム1	1日（午前9時から午後10時まで）	18,200円
セミナールーム2		25,400円
実習室1		24,900円
実習室2		12,700円
ミーティングルーム1		2,000円
ミーティングルーム2		2,000円

ミーティングルーム3		4,000円
ミーティングルーム4		8,500円
ミーティングルーム5		4,800円
ミーティングルーム6		9,800円
マルチスペース		17,200円
AVスタジオ		5,200円
シェアードオフィス1	1人(団体にあっては構成員1人) につき1月	6,700円
シェアードオフィス2	1区画につき1月	25,400円
シェアードオフィス3		41,100円
大学情報コーナー		16,500円
地域情報コーナー		4,100円

備考 シェアードオフィス1、シェアードオフィス2、シェアードオフィス3、大学情報コーナー又は地域情報コーナーの利用を開始する日又は終了する日が月の中途である場合におけるその月に係る利用料金は、当該月の実日数を基礎として日割りによって計算して得た額とする。この場合において、当該額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

(2) 加算利用料金

ア 利用者が、販売行為等のために施設(シェアードオフィス等を除く。以下同じ。)を利用する場合は、基本利用料金に100パーセントを乗じて得た額を加算する。

イ 利用者が、販売行為等のために施設を利用する場合であって、入場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を徴収するときは、基本利用料金に200パーセントを乗じて得た額を加算する。この場合において、アの規定は適用しない。

ウ 利用者が、販売行為等以外のために施設を利用する場合であって、入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次の表に定める率を乗じて得た額を加算する。

1人当たりの入場料等の最高額	率
1,000円未満	50パーセント
1,000円以上3,000円未満	80パーセント
3,000円以上	100パーセント

(3) 延長等に係る利用料金

施設を利用する場合であって、利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用するときの当該延長又は繰上げに係る利用料金(以下「延長等に係る利用料金」という。)は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額(ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加算した額)に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

2 附属設備利用料金

附属設備	1 日 (午前 9 時から午後 1 0 時まで)
講師控室	1, 7 0 0 円

備考 延長等に係る利用料金については、前項第 3 号の規定を準用する。

3 器具利用料金

器具	単位	金額
音響器具	1 式 1 日	2, 5 0 0 円
映像器具	1 台又は 1 式 1 日	3, 7 0 0 円
撮影・編集器具	1 本、1 台又は 1 式 1 日	5, 1 0 0 円
舞台器具	1 式 1 日	1, 8 0 0 円

備考 延長等に係る利用料金については、第 1 項第 3 号の規定を準用する。

【相模原市立市民・大学交流センター条例施行規則（抜粋）】

(利用料金の後納)

第 1 1 条 条例第 1 0 条第 3 項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要があると認める場合とする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の還付)

第 1 6 条 条例第 1 2 条ただし書の規定によるセンター設置施設(シェアードオフィス等を除く。)の既納利用料金の還付は、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。
既納利用料金の 1 0 0 パーセント
- (2) 利用日の 3 0 日前までに利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき(器具の利用の取消しを除く。次号において同じ。)。 既納利用料金の 8 0 パーセント
- (3) 利用日の 7 日前までに利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の 5 0 パーセント
- (4) 器具の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 1 0 0 パーセント
- (5) 第 1 2 条第 2 項の規定による承認事項変更の承認により、既納利用料金が過納となったとき。 既納利用料金のうち過納額の 1 0 0 パーセント
- (6) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第 2 号及び第 3 号に規定する期限の末日が休所日に当たるときは、その直後の開所日を当該期限の末日とする。

3 条例第 1 2 条ただし書の規定によるシェアードオフィス等の既納利用料金の還付は、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める額により行う。ただし、還付の対象となる期間に 1 月未満の端数の期間がある場合の還付額は、当該月の実日数を基礎として日割りによ

って計算して得た額(当該額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

(1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。

利用することができなくなった期間に係る既納利用料金の額

(2) 利用の中止を届け出たとき。 利用を中止した期間に係る既納利用料金の額

(3) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める額

4 第1項又は前項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。